

私たちがねこになった日

児童文化研究サークル&スマイリー・スマイリーが
第20回私保連まつりの舞台上で劇を披露



▲宮古島市未来創造センターでの公演
本番前の円陣(左)と、公演中(右)の様子

■第20回私保連まつり公演日程
・2025年11月8日(土)
宮古島市未来創造センター
・2025年11月15日(土)
うるま市石川会館

講義で学んだ手遊びやパネルシアターを通じ、地域の子どもたちへ笑顔を届ける活動に取り組む児童文化研究サークル&スマイリー・スマイリー。絵本を題材にした劇を披露し、多くの子どもたちに笑顔を届けました。

2025年11月、一般社団法人沖縄県私立保育園連盟主催による「第20回私保連まつり」の舞台にて、児童文化研究サークル&スマイリー・スマイリーが、絵本「11ぴきのねこ」を題材にした劇を披露しました。

学生たちは、学業やアルバイトの合間を縫って、サークルでの練習に取り組み、完成度の高い劇をつくり上げました。当日は、劇を通じて多くの子どもたちに物語の楽しさを届け、会場を笑顔で包み込みました。

同サークルは、11月29日に開催した「キリ短・キリ学祭」でも公演を行うなど、積極的に活動を続けています。

絵本「11ぴきのねこ」の物語を
学生たちが熱演！

ダンスの振り付けからフォーメーションまで何度も練習を重ね、段々と形になっていく達成感や堂々と舞台上に立てる自信など、私保連まつりまでの取り組みを通してたくさんのものであることができました。

見ていただいた方々にも物語が進むワクワクを味わっていただけていたら嬉しいです。

私達は私保連まつりに向けて、役ごとの動きや表情づくりの練習に取り組んできました。準備の中で特に大変だったことは、衣装作りや旗作りなどの制作活動です。また、人数が多いため、全体で動きを合わせて練習することにも苦労しました。しかし、先輩や先生方の力をお借りして仕上げていくことができました。練習で意識したこと、観客に声を届けること、ねこになりきることで、さらに、見ている人を惹きつけるために、視線を合わせ同じ気持ちで舞台上に立つことを大切にしました。

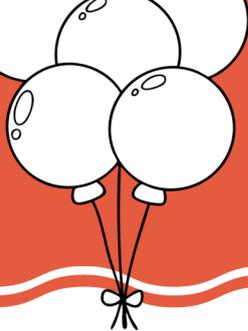
「ねこ」になりきり、観客に物語のワクワクを届けた。



勢理客 茉那さん

地域こども保育学科1年次
(知念高校出身)

サークルメンバー
からのコメント



01

2026年度より 「データサイエンス副専攻」を開設!

幼児教育・保育の場では、デジタル化やICTの活用が急速に進んでいます。時代の変化に対応できる保育者を養成するため、「データサイエンス副専攻」を設置します。2026年度入学生から履修が可能です。「幼児教育・保育+α」の学びで、あなたの可能性を広げましょう!



02

海外幼児教育研修in台湾! 2025年度より スタート!!

2025年8月4日(月)~8日(金)、地域こども保育学科の学生10名が、本学の海外研修の一つ「海外幼児教育研修」に参加しました。研修先の台南應用科技大學(台湾・台南市)では、ICTを活用したAI教材やプログラミング、園芸療育、乳児ケア技術、STEAM教育など台湾の最新幼児教育を学びました。

また、同大学の附属幼稚園訪問では、絵本の読み聞かせやエイサーを通して現地の子どもたちと交流。子どもたちの積極的な反応を通じて、言葉に頼らないコミュニケーションの重要性を再認識しました。参加学生は現地の温かさに触れると共に、先進的な教育に刺激を受け、保育者としての実践力を高める貴重な機会を得ることができました。



海外幼児教育
研修の様子♪



03

模擬保育実習室が誕生!

学内の普通教室をリニューアルし、2025年10月に「模擬保育実習室」が誕生しました。学生たちは現場に近い環境のもと、今後は演習科目を中心に、より実践的な学びに取り組んでいきます。



幼児用の机や
椅子も完備!



04

第2期「認定絵本土」が誕生!

2025年12月19日(金)、沖縄キリスト教短期大学 地域こども保育学科において、第2期 認定絵本土の認定証交付式が行われました。

「認定絵本土」とは、絵本の魅力や楽しさを子どもや地域社会に伝えることのできる資格です。本短大では、2023年度より認定絵本土養成講座を開講し、県内大学教員初「絵本専門士」の上原明子教授(図書館長)がメイン講師となり授業を行っています。

保育士や幼稚園教諭を目指す学生たちは、絵本の持ち方や読み方、紹介する技術などの専門的な知識と技能を学び、このたび「絵本の世界1・II」を受講した11名の学生が認定絵本土として認められました。



認定証交付式
の様子

05

西原町平和事業 「チョークアート展示会」

「チョークアート展示会」は、西原町が主催する平和事業の一環として行われています。平和な社会の実現を目指す機運の醸成を目的に、若者の視点や発想で「平和」をテーマに作品が募集され、昨年に続き本学学生の作品が展示されました。

「未来を翼にのせて」という作品は、地域こども保育学科の学生と坂田保育所の園児による共作で、平和への想いを、未来へ飛ぶハトにのせています。学生たちが描いた絵に、園児たちが思い思いのデザインを重ね、最後に学生たちがそれを仕上げた形で完成した特別な1枚となりました。

展示期間: 2025年11月25日(火)~12月11日(木)
展示場所: 西原町町民交流センター 町民ギャラリー



坂田保育所の子ども
たちと一緒に制作!